

平成28年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成28年7月8日（金）

午後3時00分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室

出席者：（敬称略）

（1）委員

木寺 正仁（市民公募）

橋本 マサ子（市民公募）

都志見 耀代（市民公募）

室谷 芳彦（地域づくり代表者会議副会長）

清水 系慈（名張市身体障害者互助会会長）

田麿 雄一（名張市保育所（園）保護者会連絡協議会会長）

松本 幸正（名城大学理工学部教授）

中平 恭之（近畿大学工業高等専門学校准教授）

仲 範和（三重交通株式会社伊賀営業所所長）

森澤 淳（三重交通労働組合伊賀支部支部長）

岩崎 彰（三重県伊賀建設事務所副所長兼保全室長）

大茂 裕明（三重県名張警察署交通課長）

小出 和仁（国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）

富永健太郎（三重県地域連携部交通政策課長）

前田 國男（名張市副市長）

我山 博章（名張市都市整備部長）

田中 明子（名張市地域環境部長）

（2）オブザーバー

福山 悦子（名張市民生委員児童委員協議会連合会副会長）

松本 一彦（代理出席、三重県県土整備部都市政策課主幹）

（3）事務局

都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人：0名

報告案件：①「活発でよい議論ができる会議のために。」

②平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価結果について

- 協議案件：①名張市都市総合交通戦略及び名張市地域公共交通網形成計画に係るパブリックコメントの実施結果について
- ②平成27年度事業報告について
  - ③平成27年度収支決算について
  - ④平成28年度事業計画（案）について
  - ⑤平成28年度収支予算（案）について
  - ⑥その他

## 1. 会長挨拶

## 2. 議事内容

### <報告案件>

- ①「活発でよい議論ができる会議のために」

中部運輸局三重運輸支局（資料に基づき説明）

座長 名張市は活発な議論が交わされている会議ということで、昨年度に調査に来られていますので、皆さんに関しては十分ご議論いただいておりますが、引き続き忌憚のないご意見をどんどん頂けたらと思います。そして、地域の交通をよりよいものにしていきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

- ②平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価結果について

事務局（資料に基づき説明）

座長 網形成計画策定について国の補助金をもらって調査事業を実施したわけですが、昨年1月に我々が事業内容について自己評価を実施した結果に対して、運輸局長からコメントをいただいているものです。総じていい評価をいただいています。「地域の移動特性に応じた交通システムが継続・拡大されるような形で計画に位置付けられることを期待します」と書かれていますが、網形成計画に記載した地域運行協議会ネットワークの設立が位置付けられており、まさに期待に沿う内容になっていると思います。

### <協議案件>

- ①名張市都市総合交通戦略及び名張市地域公共交通網形成計画に係るパブリックコメントの実施結果について

事務局（資料に基づき説明）

座長 昨年度、皆さまに1年かけてご審議をいただきました名張市都市総合交通戦略並びに名張市地

域公共交通網形成計画をパブリックコメントにかけた結果、ご意見を7人の方からいただいて、いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方を示していただいておりますが、これについてご質問ご意見等いただければと思います。

委員 パブリックコメントを実施して、素案に対するご意見が寄せられました。この中には、たくさんの具体的な要望があがっておりますが、今回の計画への反映については、「すでに記載されている」などとなっております。これらの具体的な意見はとても大事なことでございますが、今後一つ一つ検討していくことになるのでしょうか。

座長 事務局に代わってお答えしますが、ここに記載されているように、今後、再編実施計画の中で具体のルート、ダイヤを検討していくことになります。今回の網形成計画はマスタープランになりますので、細かいところまでは反映できないということをご理解いただきながら、いただいたご意見は次回に反映していくということになります。

基本的にはそれでいいと思いますが、少し気になる点があります。日常のご利用の中での困りごとがいくつか見えておりますので、せっかくの機会ですのでご協議いただけたらと思います。まず、1ページ目ですが、三重交通の昼間の時間帯に走っているマイクロバスについて、座席の近くに押ボタンがなく、押しにくいところにあるということですが、この点についてはいかがですか。

委員 実際に車両の押釦の状況をすべて把握しているわけではないのですが、構造上、押ボタンの位置を変えることができるかどうかは、整備的な面も含めて検討させていただきたいと思います。

座長 急に変えるというのは難しいと思いますので、そういったこともご検討いただければと思います。一時期、こういった意見からいろんなところに押ボタンを付けて、逆に誤って押してしまうということもよくありましたので、その兼ね合いもあります。そういう声があったということをご承知いただきたいと思います。もう1点は4ページですが、近鉄を利用して通勤しているが、近鉄の名張駅着と梅が丘行のバスの時間がかなり開いているとのご意見ですが、この点はいかがでしょう。

委員 かなりというのがどれぐらいの時間を言っているのかが具体的には分かりませんが、すべての電車で接続できるようなダイヤを組めれば最適なのですが、実際にダイヤを組むうえでは、そうできない部分もあって、何本かの電車をこの時間のバスで受けるというダイヤを組んでいるのが実態です。こういったご意見は日常でも直接いただいておりますが、時間を常に変更するのは利用者の皆さまにご迷惑をおかけする場合がありますので、そういったことを考えながら最適のダイヤを組んでいきたいと思っております。

座長 そのとおりだと思います。簡単には変えられないと思いますが、この方は毎日それで通っているとのことですので、結構、たくさんのご利用があるかもしれませんので、一度確認いただいてダイヤ改正の時期に見直ししていただければと思います。

それから、3ページです。ふれあいバスを有資格者以外でも料金を払えば利用できるようにしてほしいというご意見がありますが、これはいかがでしょうか。

事務局 ふれあいバスにつきましては、市の福祉施設「ふれあい」をご利用いただくためのバスで、事前登録いただいている方のみご利用いただけるようになっております。

座長 分かりました。コミュニティバスではなく、福祉目的の限られたバスということですね。ただ、そういうバスもあって、乗ればいいなという声ですが、これについては、今後、福祉のバスも含めて考えていければと思います。

委員 意見の中に「買い物バス」という意見があったと思います。先日、伊賀市に行ったときに買い物バスが問題になっているということがありました。買い物バスは、買い物に限って無料で利用できるバスであって公共交通ではないので、こういう会議には事案として上がってこないバスになります。今後、オークワが撤退した後にマックスバリュが入るといふ噂もありますし、他にも店舗が増えてくることも考えられますが、買い物バスをどう把握していくのか、市で把握してこういう会議の場で買い物バスについても今後検討していった方がいいのではないかと思います。

事務局 ご意見いただきました買い物バスについては、現在、市内でもアピタから特定の団地へ向けて無料で運行いただいておりますが、こういったバスについて市から意見を言うというのは難しいですが、利用者の方からすれば同じバスということになりますので、目的別のバスマップの作成時に掲載するなどの情報提供について、この会議でも検討していきたいと考えております。

座長 無料ですので、制度としてこの公共交通会議にかけずに、あるいは運輸局の認可なしに運行が可能ということになっていますが、とはいえ、公共交通全体を考える中ではこういったバスがどう運行されているかも把握しておく必要があるかと思います。

委員 実際にアピタからつつじが丘、すずらん台の方を対象として運行されていますが、商工会議所の事業者間で交通問題についても話し合っていて、一事業者だけでなく、協力してどういったことができるかを検討いただければよいと思います。

座長 おっしゃるとおりです。それを事務局としてどう把握していくかというのは難しいところですが、情報交換を密にしながらお互いが何を考えてどういうことをやろうとしているのか、協力できるのは何かといった検討ができるような体制づくりを検討してみてください。

ちなみにパブリックコメントの結果は7件ということですが、他の自治体で網形成計画を策定したところでは0件というところが結構あります。そういう意味で、関心が高い、期待が高いということの表れだと思っております。

それでは、皆さまにこれまでご審議いただいた網形成計画並びに交通戦略については、パブリックコメントを経て修正するところはないということになりますが、そういうことでご承認いただけるということでしょうか。

委員一同 異議なし

座長 ありがとうございます。それでは、地域公共交通会議としましても、都市総合交通戦略及び地域公共交通網形成計画に関しまして、パブリックコメントの結果を受けて特に修正することはないということでご承認をいただきました。ありがとうございました。

②平成27年度事業報告について

③平成27年度収支決算について

事務局 (資料に基づき説明)

座長 昨年度行いました事業、それに伴う歳入と歳出及び監査委員から監査報告をいただきましたが、これに関してご質問等ございますか。

委員 細かいことですが、資料やアンケートの紙のお金はどこに入ってくるのでしょうか。アンケートの製作などはコンサルに委託されていますが、その中にアンケート用紙の紙も含まれているのでしょうか。委員報酬は会議費ということですが、会議ごとにたくさん資料が印刷されており、

毎回膨大な紙だと思っているのですが、その費用はどこに入っているのでしょうか。

事務局 会議に使わせていただいている紙代とか印刷代は、名張市の方で印刷をさせていただいているので、すべてが公共交通会議の予算から出ているということではございません。今回実施したアンケート用紙等は名張市の事務費から使わせていただいています。

座長 今回はということですね。いつもということではないと思いますが、今回に関しては名張市の方から紙代は出しているということですね。それから通常こういう資料はいかがですか。

事務局 名張市の方でご用意させていただいているものもありますし、この度の契約の中で印刷をしていただいているものもございます。

座長 そういう観点もあるんだなと改めて感じましたが、そういった経費もどこから出ているのか気にしないといけないし、且つ削減可能なものは削減していかないといけないということです。今回に関しては名張市の予算で払っていただいているということです。

それでは、平成27年度事業報告並びに収支決算についてご承認いただけるということでしょうか。

委員一同 (異議なし)

座長 ありがとうございます。それでは、会議としてご承認いただいたとさせていただきます。

④平成28年度事業計画(案)について

⑤平成28年度収支予算(案)について

事務局 (資料に基づき説明)

座長 網形成計画はまだ策定されておりませんが、それに基づいて本年度に地域公共交通会議で実施する取組、実施にあたっての部会の設置とその要領、また、本年度の予算が事務局から提案されましたが、これについてご意見、ご質問等いかがでしょうか。

委員 何点かあるのですが、今までご説明いただいた中で、28年度の事業計画で利用環境の整備というところで、三重交通さんが今年の9月頃に車両を購入していただくことになっていますが、よく市民の方が言われることが、昼間走っているのは空気バスじゃないかという、もうちょっと車両を小さくしたらいいのにとということです。そういったことは計画的にさせていただいたらと思います。前にお聞きしました時に、現在大きな車両があると、その車両を廃止してまで新しく小さい車両を買うよりは、総経費的には変わらないのでとりあえず大きなバスを走らせながら、少しずつ小さなバスに変えていくというようなお話があったかと思いますが、現状はどのような状況になっているのかということが分かればお聞きしたいと思います。

委員 車両の更新状況につきましては、以前にご回答させていただいている内容以降変わりません。車両の延命といえますか、そういうところもさせていただいています。予算的なことや収支的な部分がありますので、車両運用を考えながら車両を更新する時期が来れば、今回のように大型車を廃車して中型車を採用、導入していくとかですね、そういった車両の更新を図っていくという計画です。

委員 朝、夕方などは大きなバスでないといけないと思いますが、それは全体的な乗降人数に合わせて計画していただいているということでしょうか。

委員 昼の利用者数が少ないときに大型車が走っていることもありますが、車両運用でこのバスは次

にこっちの路線を走る、その次はこの路線を走るというふうにするときに、どうしても大きなバスが走ってしまうということも、車両運用上では発生してしまいますのでその点をご理解いただきたいと思います。

委員 わかりました。

座長 車両に関しましてはよく話題になりますが、ご家族で考えると簡単だと思います。例えば、5人家族だとか6人家族だと大きな車を買いますが、その車にいつも5人、6人乗っているかといえれば乗っていないですね。家族みんなで乗るときには大きい車が必要なもので、どうしても大きい車に乗っていますが、お父さん一人が通うときには、ガラガラでもその車に乗っています。そのときに、ガラガラでもつたいないから一台小さな車を買おうかと言ったら余分にお金がかかってしまいます。バスも全く一緒です。朝たくさん乗るために積み残ししないためにも大きい車両を準備していますが、日中のためにもう一台小さいのを買えるかということとさすがにそれは買えません。そうしたときにどうしても空のバスが目立っているということです。でも、一般の方の感覚としてはもつたいないという感覚があるので、その辺を上手にPRしていかなければならないと思います。どこの会議に行っても必ず出るご意見ですが、そういうことでご理解いただければと思います

委員 これから小部会を作っていくということで、会長さんが任命していただくということになるかと思いますが、その対象の方というのはこの公共交通会議メンバーなのか、どういったところから選んでいただけるのかをお聞きしたいと思います。

事務局 基本的にはこの公共交通会議の委員の皆様をまず対象と考えておりますが、ただ、これ以外にも特に地域連携部会については、実際に運行していただいている各地区の運行協議会の皆様には必ず入っていただくことになりまして、事業推進部会についても、イベントだけではなく地域のニーズを把握するという意味では、この会議以外の地域の方にも入っていただきたいと考えていますし、必要であれば高校生やこどもの部会やテーマごとの部会であったり、地域ごとの部会であったり、どういう部会が必要かということも部会の方で考えていただいて、随時必要な交通まちづくりの担い手を徐々に増やしていきたいと考えています。

委員 できるだけ多くの方々に参加していただいて、本当にこの名張の中で皆さんが便利に使っていただけるようにしないといけないなと思います。そういう意味もあって定数は最初から設けていないのかと思いますが、その点は今後の流れを見ていきたいと思います。予算のところでお聞きしたいのですが、実は今までの会議を行う中で、傍聴の方が来られていました。その傍聴の方々が、ただ聞いているだけでは中身が分からないというご意見がありました。傍聴の方にも同じような資料を是非提供してほしいという声があったのですが、先ほど予算上の紙の問題が出ていましたが、可能なかどうかお聞かせいただきたいと思います。傍聴者の方が来られるか来られないか何人なのかという、未確定な部分もあるのですが、やはり皆さんと一緒に輪に入ってもらって考えようということであればそれも必要だと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

事務局 これまでこの会議を含めまして私どもの会議では、基本的に傍聴の方に対しての資料の配布は行ってきておりませんでした。ただ、都市計画審議会など、図面上をもっての協議などの場合には傍聴者にも見ていただけるようにモニターに映したり、極力資料が手元になくとも内容が分かっていたらいいようなご配慮をさせていただいております。会議の書類につきましては、画面上に映してもなかなか見づらいということで、先般、傍聴者の方からそういうご意見をいただ

きましたので、実は本日傍聴者の方の分の資料も用意させていただきまして、ただこの資料につきましては策定過程ということもございますので、会議が終わりましたら回収というお願いをした上で配布するご用意をさせていただいております。今後につきましても、会議の資料の中身によってスクリーンで説明できる部分についてはスクリーンでなるべく経費を抑えてさせていただいて、どうしても文章等々確認いただきたい部分については、極力傍聴の方にも見ていただけるような配慮をさせていただきたいと考えております。

委員 傍聴者のことですが、この公共交通会議の初回に傍聴者についてどう扱うかという提案があったかというふうに記憶しているのですが、30分前に控えてくださいということになっているようです。暑い時はいいでしょうが、寒い時もそういうことで待たされていたというようなことがあります。30分前というのはどうかという声を聞きますと感ずるところはあるので、これは公共交通会議で訂正ができるのかどうかお諮りしたいと思います。

座長 たぶん名張市の傍聴規定かでそう決めているんですね。

事務局 実は会議によりまして傍聴者の受付の方法等も異なっています。都市計画室の中でも都市計画審議会等ですと、基本的には先着順ではなく抽選という形式を取らせていただいておりますので、どうしても待機時間といいますか、傍聴希望者から傍聴者になっていただく手続きがどうしても増えてしまいますし、会議の内容によっても傍聴していただけるかどうかをまず会議で決めていただいているからになってしまいますので、入っていただくタイミングも遅れてしまう場合がございます。この会議につきましては抽選ではなく先着順というかたちで運用させていただいておりますけれども、時間についてはこの会議で作っていただきました傍聴要領によって開始予定の1時間前から30分単位で先着順で行うということにさせていただいておりますけれども、もう少し待機の時間を減らす工夫として受付時間の変更は可能と考えています。

座長 特に30分前までにする必要はないと思いますが、いかがですか。何分ぐらいが適切なんですか。

事務局 先着順で、幸い傍聴定員10名を超えて問題になるということはありませんでした。仮に案件内容によっては、10名を超えて揉めるようなことも考えられますが、何分が適切でしょうか。10分前までに締切というぐらいでしょうか。

座長 そうですね、10分ぐらいがたぶん我慢できるぐらいでしょうか。10分という案がありますがどうですか。

委員 いろんな会議があって、傍聴者が結構おられるところもありますけれども、傍聴しようという人は30分前でも来ます。たまたま道を歩いていて、傍聴があるから来るというわけではないです。ですから30分とか20分ぐらいは必要で、10分というのは少し厳しいかと思います。

事務局 この30分前というのは委員さんとお顔を合わすといいますか、受付が被るのを避ける意味で30分という意味合いがあるのかもしれませんが。確かに早く来ていただいたら来ていただいただけ長く待つていただくというのを少しでも緩和したいと考えておりますので、傍聴の受付場所を変えるなども考えながら10分までというふうにさせていただけたらと思いますがいかがでしょうか。

座長 やはりこの会議をできるだけ多くの方に傍聴いただきたいと思いますので、そういう意味ではできるだけハードルを下げるという意味で10分前、場合によっては受付等々で工夫いただくということで、10分に変更したいと思います。皆様方よろしいですか。はい、ありがとうございます。では傍聴要領を10分前に変えていただいて、10分前までならいつでも結構ですとい

うことでお願いしたいと思います。それでは本題に戻りまして、事業、部会の要領、あるいは予算についてご意見ご質問等ございませんか。

委員 予算のことですが、事業費の予算が0になっておりますが、平成28年度の事業計画案という資料にいろいろな事業の実施が挙げられているなかで、事業費の予算が0というのはどうなのかなと思います。

事務局 実は事業推進部会、地域連携部会について、現段階で詳細な提案まではさせていただいておりません。といいますのも、今後こうしたニーズ把握ですとか啓発イベントについての企画の段階から部会の皆さんと考えていきたいということもございまして、詳細な計画というのはお示しをさせていただいておりません。今後、各それぞれの部会の準備会というかたちでコアとなるメンバーの方というのをまず会長の方からご指名をいただきまして、メンバーの方と一緒に1年間実際にどういうかたちで、どういうメンバーでどういう取り組みをしていくかというような準備会議をまず持たせていただきたいと考えております。その中で会場借上げ費ですとか、多少の物品、印刷費などは市の方の予算から支出させていただきたいと考えていますが、このような費目でできないものについては会議としての予算措置というのも必要でございますが、メンバーの皆さまにご協力いただける部分がありましたら、そういうかたちで部会を盛り上げていただけたらというふうに考えているところです。

座長 イメージ的にはまちづくり活動の一環で地域の方々と手づくりでやっていただきたいということだと思います。それは結果、もちろん公共交通の利用促進にも繋がるのですが、コミュニティの形成などにも還元されていくという考えだと思います。それから、バス協会さん、予算的なものだけではなくて、例えばご参加いただいた方々に何かグッズをご提供いただくなどの面でご協力いただけたら是非というような話が今ありましたが、もちろんバス協会さんだけでなくその他の方々も含めてということです。手づくりでやっていきたいと思いますというのが事務局からの今回の提案です。

委員 両部会の構成員についてです。兼職というか公共交通会議委員が構成員に入るとと思いますが、例えば自薦他薦について、この人はどうかとか、あるいは私になりたいとか、というようなことがあるとしたらここに書かれている公共交通会議が必要と認めるもの、ということになるかと思いますが、そもそも自薦他薦そのものを考えていないということなのか、質問します。

事務局 もしこの場で是非私がこの部会と一緒に中心になってやっていきたいとか、そういうご意向がありましたら聞かせていただきたいと思います。

座長 交通会議が必要と認める者、です。ですので、交通会議が必要と認める者をどうするかというのはここで決めればよいことです。ここで自薦他薦も含めて、そういう方々を必要とすることにしてしまうと決めればよいと思います。そういう意味で皆様方にお諮りしたいと思いますが、自薦他薦を含めてこの会議で必要と認めることを決めるというご提案がありましたが、何かこれについてご意見ございましたらお願いします。

委員 会議の中身の体質を二つに分けて、専門部会を作り専門性を高めようということで、まず、当然市の交通会議の設置要領がありますので、できることならば専門性の高く、事務局と常に連絡の取れる方を2、3名選ぶ必要があります。こういう部会は作業部会ですから作業性の高い人選が要求される。ですから最初の素案を、例えば行政とこの会議のお三方で素案を作ってください、一度提示いただいてから次の段階へ進む方がいいと思います。あと、必要と認める者ですので、この会議が任命するということになりますが、この会議が次は1月ですよね。

事務局 公共交通会議全体としては1月です。この両部会の取り組みの検証も含めまして全体会議としては1月です。

委員 ですが、この会議が必要と認める者とするという言い方になると、もう一回どこかで会議をひらかないといけませんよね。

事務局 書面決議とさせていただくということもあるかと思います。

委員 作業部会でより専門性の高い活動となっていくので、良くなっていくと思いますが、人選や任命などの作業をスムーズにできればと思います。

座長 特に地域連携部会は、確かに専門性が高いと思います。事業推進部会の方はどちらかというところ、皆さんで何がやれるかというのを考えていこうというふうに、地域の方がメインの取組みだと思っています。本来であればこの場である程度の事務局の素案があって、皆さんにご承認いただくのが良かったのですが、まずは準備会として活動開始していくということですので、現段階ではどのように決めるかという方針だけを決めていただいて、その後事務局の方で素案を作り、準備会から部会を作っていくということになるかと思っています。そういう意味で、今、自薦他薦も認めましょうというご提案がありましたが、よろしいですか。では、自薦他薦も含めて必要のある人を、我々として決めていくということにさせていただきます。その後の手続きは事務局の方で進めていただいて、場合によっては書面決議ということでもいいかと思っています。基本的にはやる気のある方にやっていただけるのがいちばんありがたいと思っております。そのやる気のある方がやる気を持ち続けるためには、最低限の経費が本当は必要だろうという気はしておりますので、今年度はともかく、是非そういった活動資金があればいいと思います。今年度はこの形で、今後はそのように考えていただければ、また、国の補助制度等々もあると思いますので活用いただければと思います。

委員 資料5の1の事業計画案のところ、2、3点疑問に思ったことですが、事業名等の(2)「公共交通環境整備」の一番上の「安全な交通環境の実現」の(1)「利用環境の整備」について、先ほどお話も出ましたが、内容を見ていくと、車両の購入など車両のことしか書いていません。利用環境の整備というと、アンケートの自由意見のところを見てみると、バス停の待合環境をもっと良くしてほしいという意見がありましたが、そういうバス停のことや道路の狭い所など、そういうところも含めた利用環境かと思いましたが、ここでは②③の車両のことしか触れていなかったもので、そういうことに関してはどうなのかと疑問に思いました。あともう1点ですが、(2)の「公共交通の安全に向けた取り組み」というところで、②の「地域住民による各種活動の実施」というところで、昨日、蔵持小学校でバスの乗り方教室を実施したということですが、これは毎年やっているのか、継続的に実施しているのでしょうか。また、蔵持小学校だけでやっているのか、他の小学校では今後どうしていくのか教えていただきたいと思います。

座長 皆さん、お手元に先ほどご承認いただいた網形成計画があるかと思います。67ページをご覧ください。これを基に今回平成28年度の事業を作ってもらっています。1点目の利用環境ですが、皆さんにご審議いただき記載した部分です。それぞれ、乗り継ぎ拠点における待合所やスロープの整備、主要なバス停におけるベンチ・屋根・点字案内など案内板、音声案内板の整備というのが書かれています。ただ、今年度はスタートができないということです。これは特に予算的な裏付けが必要であったり、あるいは並行して道路整備が進まないといけないということです。これはもう少し先にやっていくということでご理解ください。それから2点目の乗り方教

室については、ずっとやっているのか、あるいは蔵持小学校以外はどうかということですが。

事務局 昨日、蔵持小学校でバスの乗り方教室を開催させていただいた経緯としましては、緑が丘地域で運行いただいているコミュニティバスみどり号の運行協議会から、利用促進対策として是非ともバスの乗り方教室を開催したいというご意見をいただきまして、学校区であります蔵持小学校で開催させていただいた次第です。今後どうしていくのかという点につきましては、三重交通さんにもご協力いただいてバスの体験乗車や車両整備工場の見学、三重県バス協会さんにもご協力をいただきまして修了証の交付、記念品としてバスグッズをお渡しさせていただくなど、蔵持小学校の児童や先生方にも非常に好評でありましたことから、他の小学校へも広めていきたいと考えております。

座長 バス協会さん並びに三重交通さん、是非いろいろご協力いただきながらこのような活動を続けていただきたいと思います。子どもたちがバスに乗るといのは非常に大事なことです、是非ご協力をお願いいたします。あと、道路整備の話がでましたので都市整備部長から一言お願いします。

委員 道路整備に限らずハード面につきましては、正直に申し上げて厳しい状況ではあります。ただし、これから私たちのまちづくりとして目指す方向というのは、すべての方に気持ちよく過ごしていただくということだと思います。それは、この計画にもありますように誰もがという言葉がキーワードになってくると思います。ですので、今までどちらかといいますと、自動車や物流というものを中心としてハード整備を行ってきたわけですが、今後は生活者に気持ちよく過ごしていただくという観点でのハード整備にも努めて参りたいと思います。自動車については走りにくなる場合もあるかもしれませんが、公共交通、あるいは歩行者、自転車での通行者に対してもう少し心遣いした整備というのを目指していきたいと思っています。

座長 ありがとうございます。では、この事業に関しましては、特にご意見がなかったのでこのようなかたちで事業を進めていただきたいと思います。ただ、このワークショップ等に関しては具体案を事業推進部会で考えていただくということになるかと思います。それから、各部会に関しましては、会長からのご指名もありながら、自薦他薦を含めて選任できるということです。そしてこのあと具体的に事務局の方から自薦他薦をどうかたちで受け付けるかということも報告いただきながら進めていただいて、まずは準備会を早急に立ち上げて走り出してほしいと思います。それから設置要領でございますが、全体としては特にご異論ありませんでしたが、よろしいですね。設置要領の修正は公共交通会議で皆さんで審議すれば変更修正できるということです。最後に平成28年度の予算です。事業に関しての取り組みに関しての予算は付いておりませんが、今年度に関してはそういう形でお願いしたいということです。特にご異論ございませんのでご承認いただいたということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

座長 ありがとうございます。それでは、事業並びに予算に関しましてご承認いただいたということにさせていただきます。ちなみに予算書で②事業費の予算額が空白ですが、これは空欄という意味ですか。

事務局 0が抜けております。

座長 0ですね。皆さん、ここは0を入れてください。では、協議案件はこれですべて終了いたしました。

## ⑥その他

座長 最後にその他でございますが事務局から何かありますか。特にないようですので、委員の皆さま方から何かございますか。

委員 市民アンケートの自由記載欄を送っていただき、ご意見が結構書いてあって、これはなんとか汲み入れたいと思って一生懸命読みました。やはりこの意見を大事にしたいと思います。ただ、ある程度同種の意見をまとめて載せてくれたほうがこちらとしては読みやすく、意見も吸い上げやすいと思います。事務局に対しての意見ですが、今後自由意見というのはどのように扱っていくのでしょうか。取り入れられるもの、取り入れられないにしても近づけるものなど、できるだけ具体的に取り入れたいと、私個人としては思っていますが、これから具体案を考えていくにあたってアンケートの自由意見をどういう位置づけで取り上げていくのかを確認したいと思いました。

事務局 自由意見の整理方法につきましては、ご提案いただきましたように内容別ですとか目的別などに再編をさせていただきます。この自由意見に記載いただいたお気持ちは非常に重く受け止めておりまして、今後は事業推進部会におきまして、ニーズ調査ですとか、地域の方がどういうことでお困りになっているかなど、そういう地域の小さなワークショップを開催させていただく際に十分に見ていただいて、検討していただく重要な材料になってきますので、この自由意見はこのまま皆様に見ていただいて終わりというかたちではなしに、今後は事業推進部会の中でもこういう意見はどう扱うかを検討していきたいと思っております。また、意見を書いていたこのアンケートは、無記名アンケートでしたが、ご賛同いただける方は連絡先を書いていただく欄を設けさせていただいております。実は70名程度の方が今後こういうことに携わっていきいたいというような回答をいただいております。今後、事業推進部会の方で考えていただきたいのですが、そういう気持ちのある方、交通まちづくりに参加していきいたいというご意向をお持ちの方がいらっしゃると思いますので、こういった方々も含めてアンケート結果も踏まえて地域ニーズに合った具体路線を考える際の材料にしていきいたいと考えています。

座長 是非お願いしたいと思っております。自由意見というのはいろんな物事の改善を進める上ですごく重要な情報が入っておりますので、それを邪険に扱うのではなく丁寧に扱っていただければと思います。ただ、すごく大変な作業になりますので、事務局には大変申し訳ないですが、この後の再編実施計画に向けてまとめていただいて、すぐに対応すべきもの、中長期的な課題等といった形でまとめていただくというのがいいかと思っております。また可能であれば、いろんな分析手法がありますのでそういった点、我々大学がお手伝いできることがあるかもしれませんので、またそれはご提案させていただこうと思っております。ただし、我々として気を付けないといけないのは、文句というのは言葉で現れやすいですが、例えばある路線についての文句、あるいは運賃制度など、でもその裏には声にならない大事な思いや多くの意見があることがありますので、我々はその自由記述だけに引っ張られないようにしなければなりません。その際にはアンケートと照らし合わせて、こういう意見もあるけど本当は多くの方々がこっち側で考えておられるということをしっかり認識しておかなければいけないと思っております。

委員 私も自由意見について同じ思いでした。今も座長がおっしゃいましたが、これは私個人の自由意見のまとめ方の提案ですけど、まず地域別に、そして地域別の中で年齢別にしてはどうかと思います。地域別というのはなぜかといいますと、個人の要求というのももちろんありますが、この地域にはこんなふうな交通網はどうかという総合的な提案もあるだろうと思います。一つの地域でどのような考え方ををお持ちの方がいるのかというのを見せてもらったほうが考えやすいと思います。

座長 ひとつの分け方として、地域、年齢別といったご提案ですね。ありがとうございます。そのほかにございませんか。

委員 事業計画の基本的なところですが、昨日も蔵持小学校で三重運輸支局様、三重交通様、地域の方とたくさんご協力もあり、名張市さんとバス協会とで、三重県で初めてICカードを使った乗り方教室を蔵持小学校で実施して、非常に子どもさんは非常に喜んでいただいています。実はバス協会としては、バス会社さんに助成金をお渡ししておりますが、今後は他の市町村の小学校からもそういった体験をやってほしいということで、手が挙がってくると思います。バス協会としましては、大体3月には翌年度の予算もあり、理事会にそれを諮ります。事業計画案にはお絵かきバスの実施も記載されていますが、実施しようと思いますと、三重交通さんのバスを1週間ぐらいかけて全部塗白く塗ることになります。つまり、絵を描くバスは1週間運行できないということです。お絵かきバスというのは非常に費用がかかります。今回、初めてお絵かきバスの計画を見ましたが、バス協会の予算としては見込んでおりませんでした。こういった子どもさんや市民の皆さんに喜んでいただけるイベントはとても良いことだと思いますが、予算の確保が課題となります。

座長 逆に言うと、網形成計画の方に書き込んであれば、バス協会さんをはじめ三重交通さんは、ご事務局に予算確保の確認等をいただくと共に、3月にバス協会の予算が決まるということですので事務局は早めに予算獲得に向けたお願いをすることが必要です。あとは事務局としても予算の確保をなんとかお願いします。ちなみにお絵かきバスは大変好評で、愛知県でもいろんなところでやられていますが、すごく費用がかかるというのが分かっておりまして、どこでも開催できるわけではありません。代替案として、バスと同じ大きさの紙を用意し、そこに子どもたちが絵を描いて、それをバスに貼って記念撮影をするということもあります。それでもすごく喜ばれております。予算がないなら知恵を絞るということが必要だと思いますので、是非そういうことも考えてください。

委員 津市さんでは、津新町商店街にご協力いただいて実施されています。

座長 なるほど、商店街からの協力というのもいいと思います。支援の輪を広げていくというのも一つです。そういうものもご提案いただければと思います。他に何かございますか。

委員 この会議も回数を重ねてきていつも思いますが、明確に会議時間の設定をしておらず、概ね2時間程度という感じで進めていただけていますが、2時間では中身のある充実した議論ができないし、発言できない委員もおられます。私はこうした会議時間の設定に疑問を感じていますが、事務局やほかの委員の皆さんも個人的にどう思っておっしゃいますか。

事務局 こういった話は今回に限らず議論の仕方とか時間設定の仕方など、ご提案をいただいています。この会議そのものの運営が、非常に人数も多いですし限られた時間で十分議論ができないといった反省も踏まえまして、今回提案させていただいた小部会というかたちで、より専門的により具体的な検討を進めていただける体制を作っていきたいと考えており、小部会の方でもう少し

時間設定のことや会議の進め方なども工夫しながら進めていきたいと考えていますので、ご理解いただければと思います。

座長 私の段取りが悪く、これまでも2時間半～3時間かかる会議があって大変申し訳ないと思います。せっかく来ていただいている皆さんにご議論いただきたいと思っていますので、基本的には皆さんにご発言いただいて、できるだけ時間を取ってやっていくつもりです。この会議には、皆さん積極的にご発言いただいております、先ほどより良い会議のためにとということでご紹介もありましたが、この会議は良い議論がなされているモデルとして取材を受けている理由でもあると思います。もし、全然言いたいことを言えてないということがあれば、それは私の責任でございますのでそこは反省させてもらっておりますが、ただ引き換えに時間が延長してしまうということです。ただ、議論をコンパクトにするために専門部会でやってもらうという、まさに本日の提案があったようにご理解いただければと思います。ちなみに、そうではなく2時間で終わるということであれば、そういう会議の進め方もできると思います。でもそれは皆さんに集まって頂いた意味がないと思っていますので、やはり皆さんにご意見をいただきたいと考えています。

委員 時間が2時間では短いので、逆に長くしてはという個人的な意見です。間にちょっと休憩を入れてでも、やはり2時間では終わらない中身だと思います。

委員 地域によってはそういう場合も当然ありますので、途中で休憩を入れながら3時間4時間の会議もございます。

座長 皆さま方、たくさんのご意見をいただきましたことに感謝を申し上げ、進行を事務局にお返しいたします。

事務局 長時間にわたり活発なご議論をいただき、誠にありがとうございました。これをもちまして、第1回名張市地域公共交通会議を終了させていただきます。